



善正寺だより

掲示板法話

南無阿弥陀仏で一生青春

幾つになっても育ち盛り

明けましておめでとございます。子供の頃は、お正月が待ち遠しいですが、大人になるにつれ、素直に新年を寿ぐことが少なくなりました。

しかし、正月の「正」と言う字は、「止まる」に「一」と言う字が乗っていますから、「立ち止まって一から始まる」と読めば、素直にまっさらな気持ちに立ち返って、生かされているわが身を見つめる機会です。

「やり直すことのできない人生であるが、見直すことができる」。これは金子大栄先生の有名な言葉ですが、そんなお正月でありたいです。問題は「見直す視点は何か？」です。

最近の気象予報はよく当たりますが、それは地上から空を眺めていた時代とは違って、気象衛星が沢山回って高い宇宙からのデータを集めて解析された結果であるからです。我々も他人と比較してうぬぼれたり、卑下したりでは落ち着いた安心が得られず、空しく過ぎるばかりだと気づかばなりません。現代人は「寂しい病」にかかっている、と言われます。少子高齢化社会が進む今日、そんな話がし

きりに聞かれます。

だが、先日あるお寺の報恩講にお参りしたとき、「お慈悲の世界は温いなあ」という妙好人の言葉そのままだと感じました。休憩中の余興(?)のような場面です。

「歳だつて?」

「とんでもないわ!」

「若い心で前向き志向」

「南無阿弥陀仏で一生青春」

「いくつになっても 育ち盛りの私です」

「わっはっは!南無阿弥陀仏」

坊守さん・布教使さんのK先生が門徒さんと一緒に、身振り手振りも交えて、大声で掛け合い漫才のような笑いに包まれ大合唱!みんな一緒に大きな声で唱和し、手も指も身体全体を動かすのは、身も心も活性化させます。

何よりも「南無阿弥陀仏で一生青春。いくつになっても育ちざかり」とは往生浄土の人生を見事に表す、温かく力強い宣言です。これほど温かく明るい本堂の雰囲気は珍しいが極めて貴重。磁石のようなお慈悲の力で寺の垣根を越えて聴聞に駆けつけたお念仏ネ



〒:512-0902
三重県四日市市
小杉町1014
浄土真宗
本願寺派
善正寺
☎:059-331-1670
fax:059-332-0733

☆行事ご案内

◇元旦会&御正忌お朝事(あさじ)

元旦会(がんとんえ): 1月1日朝9時 正信偈

新年のスタートは家族揃ってお寺参りから!
終了後大人は庫裏で年始の懇親会

お朝事: 1月13、14、15、16日の朝7時

連日4日間真宗門徒のプチ修行。正信偈、住職法話、茶話会

◇除夜の鐘: 12月31日夜11時45分より誰でも撞けます。全員になんまんだぶ煎餅進呈。元旦会には子供にお年玉菓子進呈

◇一縁会テレホン法話 Ⅱ 059-354-1454 三重組有志の僧侶・坊守、若院が週替わりで3分法話、是非お電話下さい

◇絵手紙教室 1月9日(火)午前10時 28回目川崎光子先生 庫裏食堂で。作品は小杉郵便局にも展示

◇キッズサンガ1月はお経の練習無し。鐘撞きは毎日夕方5時、年中無休。子供に心の教育と礼儀作法を身につけさせよう!

◇初参式の赤ちゃん幼児募集! 来年4月21日(土)午後1時善正寺 三全仏婦主催、参加費千円、地域で子供の誕生と成長を祝福!

善正寺ホームページ「三重 善正寺」で検索。1年分の寺報閲覧。
毎日更新ブログ「住職と坊守のつれづれ日記」好評。開設丸9年5か月で25万6千訪問、一日平均80人程、悩み相談、大歓迎!即返信

◇新納骨堂: 後継者の無い方、お墓でお困りの方ご相談下さい

◇法事の場所でお困りの方: 本堂使用可。寺にご相談下さい。

写真アラカルト

お内仏報恩講の光景



安城の御影

ツトワークの素晴らしさ。「寂しい病」も吹き飛ばすこと請け合いです。苦惱も煩悩も背負いつつ、お念仏もろともに、まっさらな心で前向き志向の一年を送りましょう。



2017.12.02 10:27



2017.12.02 新たなお参りも続々



2017.12.02 10:21



坊守スケッチ 丸い心で生きよう



いよいよ平成最後の年になりました。新年をどのような気持ちでお迎えますか？私は年齢を重ねると共に、腹を立て愚痴を言うことが少なくなりました。「所詮言っても無駄。相手にも都合のあることだから」と諦めるようになりました。視点を別の方向に向ける術を学びました。これも聴聞のおかげかもしれません。「人生は丸くなるための旅路だ」と言った人がいます。若い時はすぐにカッとなって他人と衝突した人も、歳をとるとエライ有難い人に変身します。まるで川上のごつごつした岩が、川下への流れと共に角が取れて丸くなっていく様子です。

しかし近年高齢者でさえ、他人の迷惑を顧みず、自己主張してトラブルを起こすことが頻繁に起こっています。訴訟社会が当たり前になって、他人の非を攻撃。自分にも落ち度があると反省して先に謝っておけば、あんな大事にならずに済んだのにと残念です。

いくら法律で解決したところで、お互いの心の傷は癒えません。昨今の相撲界の大騒動は、マスコミも加勢して益々火種が大きくなるばかり。相撲ファンにとっては残念至極です。

やはり日頃から、自分を映し出す『心の鏡』を持つことが肝要です。他人にとやかく言われて嫌々反省するよりも、先ず自分の方から頭を下げれば、早くスッキリして円満な人間関係が

復活します。しかし現代はそれを教える機会がめっきり少なくなりました。ご先祖や人生の大先輩が歩んでこられた生き方や考えを辿るとも無く、全てが力で何もかも解決できると思いがちです。そして自分さえよければ、お金さえあれば、自分の思い通りになると過信します。やがて自分の力が及ばぬ事態や、高齢になってから嘆いても遅いのです。どうか今日も一日生かされているご恩に感謝して、この一年を『丸い心』で過ごしましょう。

カンパありがとう！

豊住様、溝脇様、他匿名様よりお志、切手等頂戴。感謝！

寄稿

四日市市 釋清風

- ・ 目覚めれば冬の星たち輝きて
- ・ 老銀杏輝き残して恩師近く
- ・ キャンパスに語る人なく落ち葉舞う
- ・ 山茶花や風になびかず自然なり
- ・ しゃきしゃきと踏む足軽し霜柱
- ・ 遠路より磁石のごとし報恩講
- ・ 半世紀話題尽きずや師走宴
- ・ 時越えて教え子集い鍋奉行



☆若院夫婦の『育自な毎日』その37

今春は長男・亮爾(5)の小学校入学と長女・紗恵(3)の幼稚園入園が重なり、忙しい一年になりそうです。長男の卒園式後には謝恩会を開きますが、私はクラス役員として他のママさんたちと夏頃から準備を進めています。店の予約や記念品の決定、寄せ書き集めや記念ムービーの制作など、全員が謝恩会未経験のため、先輩ママさんにアドバイスを頂きました。今は少しずつ形が見え始め、お世話になった先生方を、感動の涙で泣かせたいという意気込みで頑張っています。

園生活では、先生が細かなところまで気配りされて、保護者にもその都度連絡を下さいます。例えばお休みすればお見舞いの電話もあります。小学校ではそんな細かい配慮は望めませんが、その替わり、子供自身がしっかりと一段と成長してくれることでしょうか。

長男と長女は3学年差なので、幼稚園は入れ替わり入園です。園の制服やバッグ等、大半をお下がりで済みます。別のママさんは、2学年差なのでお下がりは無理。そこで私が譲ってもらえそうなママさんを探して紹介しました。私も園生活に慣れてくると、そういうお世話をして繋がりを持つ余裕ができました。長女には園生活への不安はありませんが、長男とは違った心配が出てくるかもしれません。しかし周囲を見渡せば、私と同じように子育てで不安な人ばかり。ママ友と悩みを

ホットニュース

◇「お礼」去る12月2日(土)午前10時半『お内仏報恩講』には、40名以上の方がお参り頂き、庫裏4間は熱気に溢れました。用意した手作り料理やぜんざいは完売。初参詣者は名古屋や絵手紙仲間と若嫁様等嬉しい顔ぶれ。今後も皆様の要望を真摯に受け止めて、参加しやすい形に改善していきます。よろしくご協力下さいませ。

◇「おめでどう！」ご門徒で民生委員の館絃子様が、平成29年度全国社会福祉協議会・会長表彰をされました。11月22日東京メルパルクで表彰式。長年民生委員として福祉にご尽力された活動に大きな拍手を送ります。

お知らせ

※除夜の鐘 12月31日紅白終了後、夜11時45分より誰でも撞けます。

※「元旦会」朝9時より本堂で正信偈

※お朝事 1月13日、16日の毎朝7時より本堂で。正信偈、住職法話、茶話会。真宗門徒のプチ修行の4日間。

☆ 編集子より ☆

「善正寺だより」289号をお届けします。◇新年おめでどうございます。本年も相変わらず拙寺報をご愛読下さいますようお願い申し上げます。◇北朝鮮、中東情勢極めて不穏。平成の終末から新しい時代に向けて、愚かな争乱はご法度に願いたいですね。合掌

明けましておめでとうございます。お正月を如何お過ごし
ですか？、家族揃って賑やかに、高齢の一人暮りで寂しくとか、
病院のベッドでとか、そのまま施設でとか等々のお正月風景が
浮かびます。小林一茶の俳句に「日出度さも中位なりおらが
春」という句があります。中位とはどういう意味なのか、長
年疑問でした。一茶の生活ぶりを調べると、筆舌に絶す
る苦難の連続。一茶五十九歳の時は、あばら屋に住み、次々
と妻子を亡くし、火事に遭い不幸のどん底。門松も立てず
掃除もしないで正月を迎えました。「全てを失った正月で
もあなた(阿弥陀様のこと)にお任せするおらが春」という
のが一茶の真意ではないでしょうか？、あれもこれも欲しい
と欲望を膨らませる生き方からは、幸せや満足感はい
得られません。そこには不平不満や愚痴が止まりません。今
年こそ一茶を見習って、自分のありのままの境遇を受
け入れ、全ては「阿弥陀様にお任せ」の心境に近づき
たいものです。長野の法友が「その第一歩がハイ参らせて
頂きます。なんまんたぶなんまんたぶと唱えることです」
と教えて下さいました。今年こそ疑いのない素直な気
持でお念仏申しませう。お寺参りの喜びは、こう
した法友に出会い、生かされる糧となる言葉を賜るこ
とです。どうか上っ面の言葉に惑わされず心の拠り
所となる仏様の言葉に出会う一年でありますように。
今年も善正寺たよりをよろしくお愛読下さいませ。

平成三十年一月 合掌 善正寺坊守 拜